

東洋インキグループの姿

事業セグメント

東洋インキグループの事業活動は、「色材・機能材関連事業」「ポリマー・塗加工関連事業」「パッケージ関連事業」「印刷・情報関連事業」の4つのセグメントで構成されており、トーヨーカラー株式会社、トーヨーケム株式会社、東洋インキ株式会社の3つの中核事業会社を中心にグループ各社で取り組んでいます。

色材・機能材関連事業

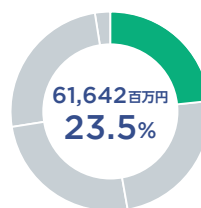
色材のリーディングカンパニーである東洋インキグループにとって、有機顔料の合成技術は原点の一つです。また、インキや塗料の製造技術で蓄積されたナノレベルの分散技術は、着色するという用途を大きく越え、フラットパネルディスプレイ (FPD) カラーフィルタ用材料や車載用リチウムイオン電池用材料などにも展開されています。

〈中核事業会社〉 トーヨーカラー株式会社

〈主な製品〉 汎用顔料、高機能顔料、顔料分散体、液晶ディスプレイ/イメージセンサー用レジスト、プラスチック用着色剤、記録材塗料、機能性分散体、インクジェットインキ*など

2020年度

売上高



営業利益



ポリマー・塗加工関連事業

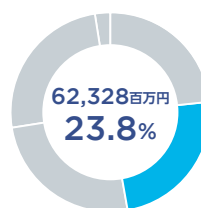
グループのコア素材の一つである樹脂(ポリマー)をもとに、時代のニーズに合わせたさまざまな製品を生み出しています。合成や塗加工の技術を生かし、自動車やエレクトロニクス、太陽電池などのエネルギー分野のほか、メディカル・ヘルスケア分野など日々の生活に欠かせない用途にも数多く機能性製品が採用されています。

〈中核事業会社〉 トーヨーケム株式会社

〈主な製品〉 接着剤・粘着剤、ラミネート接着剤、ホットメルト、塗工材料、製缶塗料、ハードコート、メディカル製品、樹脂、天然材料など

2020年度

売上高



営業利益



パッケージ関連事業

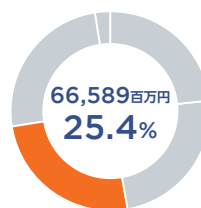
人々の生活に欠かせないパッケージの製造工程において多様な高機能製品を提供しています。特に安全・安心が求められる食品包装の分野では、インキの水溶性化、無溶剤化などを進めています。また、脱石化や持続可能な社会の実現を目指し、業界に先駆けたバイオマス製品の開発も積極的に行っています。

〈中核事業会社〉 東洋インキ株式会社

〈主な製品〉 グラビアインキ、フレキシインキ、グラビア溶剤、グラビア機器・製版など

2020年度

売上高



営業利益



印刷・情報関連事業

東洋インキグループにとって事業の原点であり、基盤事業の一つです。原材料の顔料や樹脂から最終製品までを一貫生産できる強みを生かし、環境調和型製品や高機能のUV硬化型インキなど多様な製品を開発するとともに、お客様の印刷工程での標準化サポートなどのソリューションも提供しています。

〈中核事業会社〉 東洋インキ株式会社

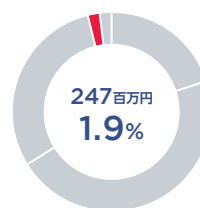
〈主な製品〉 オフセットインキ(オフ輪、枚葉インキ)、新聞インキ、金属インキ、UV硬化型インキ、スクリーンインキ(、インクジェットインキ*)、印刷材料および機器など

2020年度

売上高



営業利益



*各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

*セグメント変更：2021年1月より、インクジェットインキを印刷・情報関連事業から色材・機能材関連事業へ変更しました。

グローバル展開

東洋インキグループは、世界20カ国以上に拠点を置き、グローバルに事業活動を展開しています。それぞれの国や地域における市場ニーズに対応した製品開発・生産・販売・技術サービスを行っています。2020年度は、海外売上高比率は46.4%となり、グループ連結売上高の半分近くが日本以外で占められています。

国内 **22社**
(32拠点)

海外 **49社**
(74拠点)

海外売上高比率
46.4%

ヨーロッパ・アフリカ

アジア

日本

北米・中南米

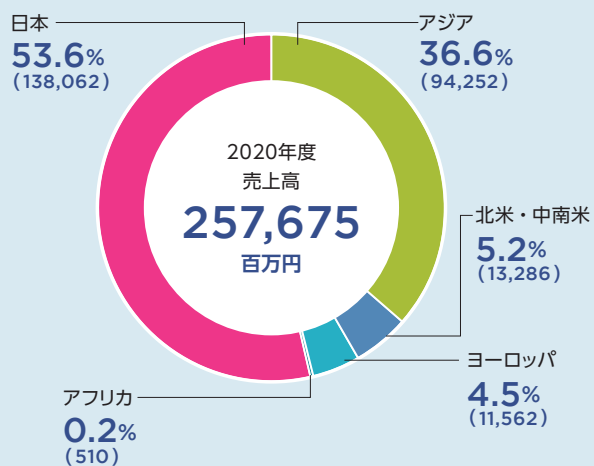
11社
(12拠点)

33社
(55拠点)

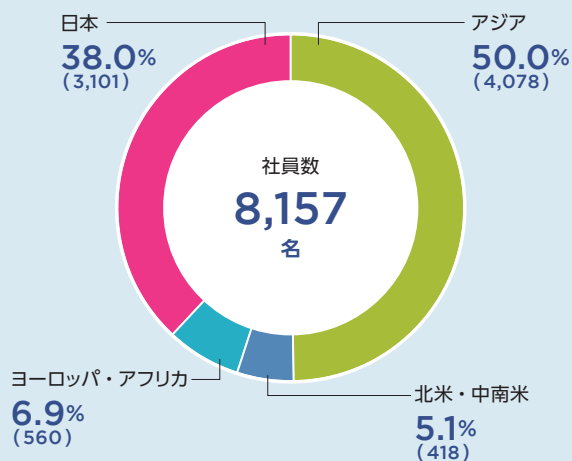
22社
(32拠点)

5社
(7拠点)

地域別売上高(連結)
(単位:百万円)



地域別社員数(連結)
(単位:名)



(2020年12月31日現在)